

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 <<社会(地理的分野)>>

※詳細については、資料Ⅱ(地理的分野-5～地理的分野-11)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新しい社会 地理
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① □ 「知識・技能」の習得について、『地図帳を使って次の都道府県を探しましょう』など、『チェック』が設けられている。また、基礎的・基本的な技能について『スキル・アップ』で取り上げられている。</p> <p>② □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、学習内容ごとに『学習課題』が設定されている。また、単元の最初と最後に『探究課題』が掲載されている。</p> <p>③ □ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習内容と関連のある現代社会の事例について『地理にアクセス』に掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ □ [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、自然災害の防災と減災について考え、実践できることが『自然災害と防災・減災への取り組み』に示されている。</p> <p>⑤ □ [たくましく生きる力]の「情報化」について、ICTを活用した医療の可能性が『ICTで変わる離島の医療』などで取り上げられている。</p> <p>⑥ □ [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、青年海外協力隊としてアフリカで食事の改善に取り組む活動の様子が『発展に向けた課題』で取り上げられている。</p>		
3 内容と構成	<p><<教科・種目共通の観点>></p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、『地図帳で調べよう』など小集団での参加型学習のテーマを示した『みんなでチャレンジ』が設けられている。</p> <p>⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、他の分野や他教科の学習との関連箇所には『分野関連マーク』や『教科関連マーク』が示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ □ 言語能力の育成について、単元のまとめに『日本はどのような姿をしているのでしょうか』などの『探究課題』が設けられている。</p> <p>⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、『なまはげ』や『会津塗』など『伝統的な生活・文化を受けつぐ人々の暮らし』というテーマで東北地方が取り上げられている。</p> <p>⑪ □ 体験活動の充実について、『調査の準備』『野外観察・聞き取り調査』などが『地域調査の手法』の単元に示されている。</p> <p>⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、各単元の導入に小学校の学習内容を確認する『小学校の社会で習ったことば』が設けられている。</p> <p>⑬ □ 情報活用能力の育成について、写真やグラフ・地図などの資料の読み取り方や調べ学習を行う際の手法などが『スキル・アップ』に掲載されている。</p> <p>⑭ □ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、資料に見開きで通し番号が付けられている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ □ 学習内容のはじめには『学習課題』、終末には学習内容を確認する『チェック』と発展的な課題を提示した『トライ』が設定され、学習の流れが示されている。</p> <p><<各教科・種目別の観点>>(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ □ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、地理的な見方・考え方を活用して考察する問い『見方・考え方』が設けられている。</p> <p>⑰ □ 多面的、多角的に考察し、表現することについて、『探究課題』『学習課題』『探究のステップ』という問いが設定されている。</p> <p>⑱ □ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、単元のはじめに『探究課題』が提示され、終わりには『探究課題を解決しよう』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ □ 『世界と日本の姿』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。</p> <p>⑳ □ 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ □ 『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 <<社会(地理的分野)>>

※詳細については、資料Ⅱ(地理的分野-5～地理的分野-11)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学社会 地理 地域にまなぶ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、『日本の白地図に都道府県名、県庁所在地名を記入し、整理しよう』など、『確認』が設けられている。また、基礎的・基本的な技能について『地理の技』で取り上げられている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、学習内容ごとに『表現』が設定されている。また、単元の最後に『表現しよう』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日本の諸課題を取り上げた『現代日本の課題を考えよう』が設けられている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、自然災害の防災と減災について考え、実践できることが『災害から身を守るために』に示されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、ICTを活用した農業の可能性が『地域おこしの知恵』などで取り上げられている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、熊本地震の被災地で、日本人とともにカレーをふるまうネパール人の様子が『災害から身を守るために』で取り上げられている。</p>		
3 内容と構成	<p><<教科・種目共通の観点>></p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『シンガポールはいま』などを取り上げた『特設ページ』が設けられている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、地理・歴史・公民的分野と関連する語句が各ページの下部の『関連』のコーナーに掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、単元末に『言葉や習慣が異なる人たちと社会生活を送るために、どのような工夫が必要だろうか』などの『意見を交換しよう』が設けられている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、『京町家の修復』や『西陣織』など『歴史的な視点から、近畿地方と特色を考えていこう』というテーマで近畿地方が取り上げられている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、『調査テーマを決める』『調査活動の進め方』などが『地域調査の方法を学ぼう』の単元に示されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、巻頭に小学校の学習内容を確認する『小学校の社会科の学習を振り返ろう』が設けられている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、写真やグラフ・地図などの資料の読み取り方のヒントが、『読み解こう』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、資料に見開きで通し番号が付けられている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習内容のはじめには『学習課題』、終末には学習内容を確認する『確認』と学習したことを活用する課題を示した『表現』が設定され、学習の流れが示されている。</p> <p><<各教科・種目別の観点>>(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、『位置や広がり』などの『見方・考え方』のポイントが提示されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 多面的、多角的に考察し、表現することについて、学習内容を確認しながら表現する『読み解こう』が設けられている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、学習内容のはじめに『学習課題』が提示されている。さらに終わりには『確認』『表現』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(地理的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(地理的分野-5～地理的分野-11)を参照。

発行者の略称	帝国	書名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、『都・道・府がつく都道府県名をそれぞれ挙げよう』など、『確認しよう』が設けられている。また、基礎的・基本的な技能について『技能をみがく』で取り上げられている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、巻頭に『地理的な見方・考え方』を解説している。また、学習ごとに『説明しよう』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、地域社会の取組事例を掲載した『地域の在り方を考える』が設けられている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、自然災害の防災と減災について考え、実践できることが『自然災害に対する備え』に示されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、ICTを活用した地域おこしが『通信網を生かした地域おこしの取り組み』などで取り上げられている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、自然の保全活動について『熊野古道の保全に取り組む人の話』で取り上げられている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『ブラジルの熱帯雨林は、どのようにして開発されているのかな』などの問いがキャラクターの吹き出しで掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、小学校や歴史・公民的分野と関連する語句が各ページの下部の『小学校・歴史・公民との関連』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、単元末に、学習内容に関連した言語活動のテーマを掲載した『特設ページ』が設けられている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、『町家を改装したコンビニエンスストア』や『西陣織』など『環境の保全に注目して』というテーマで近畿地方が取り上げられている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、『調査テーマを決めよう』『調査方法を考えよう』などが『身近な地域の調査』の単元で示されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、各ページの下端に学習内容に関連する小学校の既習事項が示されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、『ハザードマップの読み方』や『防災情報の入手のしかた』などが、『技能を磨く』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、資料に見開きで通し番号が付けられている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習内容のはじめには『学習課題』、終末には学習内容を確認する『確認しよう』と学習したことを活用する『説明しよう』が設定され、学習の流れが提示されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、巻頭に『位置や分布』などの『地理的な見方・考え方』のポイントが提示されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 多面的、多角的に考察し、表現することについて、見方・考え方をもとに考える問いが掲載された『章(節)の学習を振り返ろう』が設けられている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、学習内容のはじめに『学習課題』が提示されている。さらに終わりには『確認しよう』『説明しよう』が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』『地域の在り方』の全4部で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるように工夫しています。また、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(地理的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(地理的分野-5～地理的分野-11)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学社会 地理的分野
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、『47都道府県の県名と県庁所在地名を書きましょう』など、『確認』が設けられている。また、基礎的・基本的な技能について『スキルUP』で取り上げられている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、表見返して『地理的な見方・考え方』が解説されている。また、『チャレンジ地理』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習課題を示した『アクティビティ』が設けられている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「いのちの大切さ」について、自然災害の防災・減災への取り組みについて考え、実践できることが『災害にそなえるために』に示されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「情報化」について、ICTの発達による生活の変化が『交通・通信からみた日本の地域的特色と地域区分』などで取り上げられている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「地域貢献活動」について、ボランティアによる雪かきの支援が『寒冷な気候に対応した人々の生活』で取り上げられている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『なぜ六つの祭りが集まって東北絆まつりが開催されているのでしょうか』など学習内容に関連した『クイズ』が設けられている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、小学校や歴史・公民的分野と関連が、ページの下部の『連携コーナー』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、『地域の魅力を広めよう』など言語活動のテーマを掲載した『アクティビティ』が設けられている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、『歴史的都市』や『茶道』など『歴史的背景をテーマに』が設定され、近畿地方が取り上げられている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、『調査テーマを決める』『調査計画を立てる』などが『地域調査の手法』の単元に示されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、各単元の導入に小学校の学習内容を確認する『小学校で学習した内容』が示されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、『統計資料を活用する』や『巻末資料の使い方』が『スキルUP』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、資料に見開きで通し番号が付けられている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習内容のはじめには『学習課題』、終末には学習内容を確認する『確認』と学習内容を深める『深めよう』が設定され、学習の流れが提示されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、巻頭に『位置や分布』などの『地理的な見方・考え方』のポイントが提示されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 多面的、多角的に考察し、表現することについて、異なる視点から学習する『地理+α』や対話的な活動を行う『アクティビティ』が設けられている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、学習内容のはじめに『学習課題』が提示されている。さらに終わりには『確認』『深めよう』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《社会(地理的分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、『地図帳を使って次の都道府県を探しましょう』など、『チェック』が設けられている。また、『日本略地図の描き方』や『統計資料の使い方』などの基礎的・基本的な技能について『スキル・アップ』で取り上げられている。
教出	「知識・技能」の習得について、『日本の白地図に都道府県名、県庁所在地名を記入し、整理しよう』など、『確認』が設けられている。また、『世界の略地図を描いてみよう』『統計資料を使ってみよう』など基礎的・基本的な技能について『地理の技』で取り上げられている。
帝国	「知識・技能」の習得について、『都・道・府がつく都道府県名をそれぞれ挙げよう』など、『確認しよう』が設けられている。また、『略地図の描き方』『統計資料の使い方』など基礎的・基本的な技能について『技能をみがく』で取り上げられている。
日文	「知識・技能」の習得について、『47都道府県の県名と県庁所在地名を書きましょう』など、『確認』が設けられている。また、『地図の活用』や『統計資料の活用』などの基礎的・基本的な技能について『スキルUP』で取り上げられている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」等の育成について、学習内容ごとに『大陸と海洋はどのように分布しているのでしょうか』などの『学習課題』が設定されている。また、単元の最初と最後に『世界や日本はどのような姿をしているのでしょうか』などの『探究課題』が設けられている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、学習内容ごとに『簡単な世界の略地図を描き、六大陸と三海洋の大まかな位置を書き込もう』などの『表現』が設定されている。また、単元の最後には『韓国と中国の工業発展についてそれぞれ特色をまとめよう』などの『表現しよう』が設けられている。
帝国	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、巻頭で『人と自然との関係』など『地理的な見方・考え方』が解説されている。また、学習内容ごとに『地球儀と世界地図の長所と短所を表にまとめ、説明しよう』などの『説明しよう』が設けられている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、巻頭で『人と自然のかかわり』など『地理的な見方・考え方』が解説されている。また、章末に『イギリスのEU離脱を考えよう』などの『チャレンジ地理』が設けられている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習内容と関連のある現代社会の事例について『地理にアクセス』に掲載されている。また、『水没の危機にあるツバル』などを取り上げた『もっと地理』が設けられている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習から興味や関心につながる『地理の窓』が設けられている。また、『公害を乗り越えて』など日本の諸課題を取り上げた『現代日本の課題を考えよう』が設けられている。
帝国	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、地域社会の取組事例を掲載した『地域の在り方を考える』が設けられている。また、『地球温暖化による影響と危機』など持続可能な社会に関連した取組を紹介した『未来に向けて』が設けられている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習課題を示した『アクティビティ』が設けられている。また、『アフリカの紛争と私たち』など日本や国際社会の諸課題を取り上げた『自由研究』が設けられている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、自然災害の防災と減災について考え、実践できることが『自然災害と防災・減災への取り組み』に示されている。また、身近な地域で防災に協力する姿勢と普段の備えの大切さが『もっと地理』に取り上げられている。
教出	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、自然災害の防災と減災について考え、実践できることが『災害から身を守るために』に示されている。また、『災害図上訓練で地域を知る』など防災・減災への取組について『地理の窓』に取り上げられている。
帝国	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、自然災害の防災と減災について考え、実践できることが『自然災害に対する備え』に示されている。また、『防災情報の入手のしかた』など防災・減災への取組について『技能をみがく』に取り上げられている。
日文	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、自然災害の防災・減災への取組について考え、実践できることが『災害にそなえるために』に示されている。また、『せまりくる巨大地震にそなえて』など災害・防災について話し合う大切さが『地理+α』に取り上げられている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、ICTを活用した医療の可能性が『ICTで変わる離島の医療』などで取り上げられている。また、『国際化』については、『人々の生活に根付く宗教』などで取り上げられている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、ICTを活用した農業の可能性が『地域おこしの知恵』で取り上げられている。また、「国際化」については、『多民族の共存と課題』などで取り上げられている。
帝国	[たくましく生きる力]の「情報化」について、ICTを活用した地域おこしが『通信網を生かした地域おこしの取り組み』などで取り上げられている。また、「国際化」については、『移民の歴史と多様な民族構成』などで取り上げられている。
日文	[たくましく生きる力]の「情報化」について、ICTの発達による生活の変化が『交通・通信からみた日本の地域的特色と地域区分』などで取り上げられている。また、「国際化」については、『移民の増加とゆらぐ統合の動き』などで取り上げられている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、青年海外協力隊としてアフリカで食事の改善に取り組む活動の様子が『発展に向けた課題』で取り上げられている。
教出	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、熊本地震の被災地で、日本人とともにカレーをふるまうネパール人の様子が『災害から身を守るために』で取り上げられている。
帝国	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、自然の保全活動について『熊野古道の保全に取り組む人の話』で取り上げられている。
日文	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、ボランティアによる雪かきの支援が『寒冷的な気候に対応した人々の生活』で取り上げられている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、『地図帳で調べよう』など小集団での参加型学習のテーマを示した『みんなでチャレンジ』が設けられている。また、『イタリアの人々の暮らしで、気候の影響を受けている例を一つ挙げ、どのような影響か説明しましょう』などの問いが『見方・考え方』に掲載されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、『シンガポールはいま』などを取り上げた『特設ページ』が設けられている。また、『宗教をめぐる共存と対立』などの学習テーマが『地理の窓』に掲載されている。
帝国	主体的・対話的で深い学びについて、『ブラジルの熱帯雨林は、どのようにして開発されているのかな』などの問いがキャラクターの吹き出しで掲載されている。また、単元の学習内容の確認と対話的な学習テーマが『特設ページ』に掲載されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、『なぜ六つの祭りが集まって東北絆まつりが開催されているのでしょうか』など学習内容に関連した『クイズ』が設けられている。また、『地域の魅力を広めよう』などの学習テーマが『アクティビティ』に掲載されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、他の分野や他教科の学習との関連箇所には、『分野関連マーク』や『教科関連マーク』などが、『数学：正負の数の加法、減法』などで記載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、学習する内容に関する語句が、地理・歴史・公民的分野に分けて記載され、他分野との関連が各ページの下部の『関連』のコーナーで示されている。
帝国	カリキュラム・マネジメントについて、学習する内容と小学校や歴史・公民的分野との関連が、各ページの下部の『小学校・歴史・公民との関連』に示されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、学習する内容と小学校や歴史・公民的分野との関連が、ページの下部の『連携コーナー』に掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、単元のまとめに『日本はどのような姿をしているのでしょうか』などの『探究課題』が設けられている。また、『みんなでチャレンジ』で小集団で学習する問いが記載されている。
教出	言語能力の育成について、単元末に『言葉や習慣が異なる人たちと社会生活を送るために、どのような工夫が必要だろうか』などの『意見を交換しよう』が設けられている。また、『地域に向けて発信する』では発信するための手順が記載されている。
帝国	言語能力の育成について、単元末に、学習内容に関連した言語活動のテーマを掲載した『特設ページ』が設けられている。また、『地域の在り方』では発信の手順が記載されている。
日文	言語能力の育成について、『地域の魅力を広めよう』など言語活動のテーマを掲載した『アクティビティ』が設けられている。また、『チャレンジ地理』で調べたり議論するためのテーマが記載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、『なまはげ』や『会津塗』など『伝統的な生活・文化を受けつぐ人々の暮らし』というテーマで東北地方が取り上げられている。また、京都の『都市の開発と歴史的町並み』についても取り上げられている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、『京町家の修復』や『西陣織』など『歴史的な視点から、近畿地方と特色を考えていこう』というテーマで近畿地方が取り上げられている。また、東北地方の『伝統工芸品』や『伝統行事』についても取り上げられている。
帝国	伝統や文化に関する教育の充実について、『町家を改装したコンビニエンスストア』や『西陣織』など『環境の保全に注目して』というテーマで近畿地方が取り上げられている。また、東北地方の『伝統工芸品』や『伝統行事』についても取り上げられている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、『歴史的都市』や『茶道』など『歴史的背景をテーマに』が設定され、近畿地方が取り上げられている。また、東北地方の『伝統工芸品』や『伝統行事』についても取り上げられている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、『調査の準備』『野外観察・聞き取り調査』などが『地域調査の手法』の単元で示されている。また、『テレビ局のディレクターになって近畿地方を発信しよう』などの学習テーマを掲載した『まとめの活動』が設けられている。
教出	体験活動の充実について、『調査テーマを決める』『調査活動の進め方』などが『地域調査の方法を学ぼう』の単元で示されている。また、『地理の技』で『地形図から断面図をつくろう』などが『地域調査の方法を学ぼう』の単元に設けられている。
帝国	体験活動の充実について、『調査テーマを決めよう』『調査方法を考えよう』などが『身近な地域の調査』の単元で示されている。また、『技能をみがく』で『地形図の使い方』などが設けられている。
日文	体験活動の充実について、『調査テーマを決める』『調査計画を立てる』などが『地域調査の手法』の単元に示されている。また、『チャレンジ地理』で『工場建設シミュレーション』が掲載されている。

⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、各単元の導入に小学校の学習内容を確認する『小学校の社会で習ったことば』が設けられている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、巻頭に小学校の学習内容を確認する『小学校の社会科の学習を振り返ろう』が設けられている。
帝国	学校段階間の円滑な接続について、各ページの下端に学習内容に関連する小学校の既習事項が示されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、各単元の導入に小学校の学習内容を確認する『小学校で学習した内容』が示されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、写真やグラフ・地図などの資料の読み取り方や調べ学習を行う際の手法などが『スキル・アップ』に掲載されている。また、『資料から発見』で資料活用について取り上げられている。
教出	情報活用能力の育成について、写真やグラフ・地図などの資料の読み取り方のヒントが、『読み解こう』に掲載されている。また、『地理の技』で地図やグラフの扱い方などについて取り上げられている。
帝国	情報活用能力の育成について、『ハザードマップの読み方』や『防災情報の入手のしかた』などが、『技能を磨く』に掲載されている。また、『資料活用』のマークを示し、資料を活用する際の視点について示されている。
日文	情報活用能力の育成について、『統計資料を活用する』や『巻末資料の使い方』が『スキルUP』に掲載されている。また、『資料活用』のマークを示し、資料を活用する際の視点について示されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、資料に見開きで通し番号が付けられている。また、本文中の語句について、欄外にその語句についての解説が掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、資料に見開きで通し番号が付けられている。また、本文中の語句について、欄外にその語句についての解説が掲載されている。
帝国	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、資料に見開きで通し番号が付けられている。また、本文中の語句について、欄外にその語句についての解説が掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、資料に見開きで通し番号が付けられている。また、本文中の語句について、欄外にその語句についての解説が掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	学習内容のはじめには『学習課題』、終末には学習内容を確認する『チェック』と発展的な課題を提示した『トライ』が設定され、学習の流れが示されている。また、巻末には『解説』が設けられ、重要語句の解説が掲載されている。
教出	学習内容のはじめには『学習課題』、終末には学習内容を確認する『確認』と学習したことを活用する課題を示した『表現』が設定され、学習の流れが示されている。また、巻末には『用語解説』が設けられ、重要語句の解説が掲載されている。
帝国	学習内容のはじめには『学習課題』、終末には学習内容を確認する『確認しよう』と学習したことを活用する『説明しよう』が設定され、学習の流れが提示されている。また、本文欄外に『解説』が設けられ、重要語句の解説が掲載されている。
日文	学習内容のはじめには『学習課題』、終末には学習内容を確認する『確認』と学習内容を深める『深めよう』が設定され、学習の流れが提示されている。また、巻末には『用語解説』が設けられ、重要語句の解説が掲載されている。
⑯ 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、『写真から、人々の生活と、熱帯の気候との関連が読み取れる部分を探しましょう』などの地理的な見方・考え方を活用して考察する問い『見方・考え方』が設けられている。
教出	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、巻頭に『位置や広がり』などの『地理的な見方・考え方』のポイントが提示されている。また、キャラクターの吹き出しに『人口が多い国はどこかな』などの『見方・考え方』が示されている。
帝国	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、巻頭に『位置や分布』などの『地理的な見方・考え方』のポイントが提示されている。また、単元の最後にはその単元の問いに関連した『見方・考え方』が示されている。
日文	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、巻頭に『位置や分布』などの『地理的な見方・考え方』のポイントが提示されている。また、学習のまとめりごとの課題に関連した『見方・考え方』が示されている。
⑰ 社会的な事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	多面的、多角的に考察し、表現することについて、『探究課題』『学習課題』『探究のステップ』などの問いで構成されている。また、表現方法や調べ方が提示された『スキル・アップ』が設けられている。
教出	多面的、多角的に考察し、表現することについて、学習内容を確認しながら表現する『読み解こう』が設けられている。また、表現方法や調べ方が提示された『地理の技』が設けられている。
帝国	多面的、多角的に考察し、表現することについて、見方・考え方をもとに考える問いが掲載された『章(節)の学習を振り返ろう』が設けられている。また、表現方法や調べ方が提示された『技能をみがく』が設けられている。
日文	多面的、多角的に考察し、表現することについて、異なる視点から学習する『地理+α』や対話的な活動『アクティビティ』が設けられている。また、表現方法や調べ方が提示された『スキルUP』が設けられている。

⑱ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、単元のはじめに『探究課題』が提示され、終わりには『探究課題を解決しよう』が掲載されている。また、学習内容を発展させた『もっと地理』が設けられている。
教出	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、学習内容のはじめに『学習課題』が提示されている。さらに終わりには『確認』『表現』が掲載されている。また、発展的な学習課題として『特設ページ』が設けられている。
帝国	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、学習内容のはじめに『学習課題』が提示されている。さらに終わりには『確認しよう』『説明しよう』が掲載されている。また、章(節)の最後には学習内容を確認、活用する『特設ページ』が設けられている。
日文	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、学習内容のはじめに『学習課題』が提示されている。さらに終わりには『確認』『深めよう』が掲載されている。また、学習に関連した内容が『地理+α』が掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑲ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の姿』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。
教出	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。
帝国	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』『地域の在り方』の全4部で構成されている。
日文	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B判が採用されている。
帝国	判型はA B判が採用されている。
日文	判型はA B判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差に問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
帝国	『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるように工夫しています。また、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
日文	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載

<p>東書</p>	<p>28ページ 都道府県名と県庁所在地名を答える問題が掲載 168ページ 人口密度の高い地域として神奈川県が掲載 169ページ 人口の移動先の東京圏として神奈川県が掲載 171ページ 県内の火力発電所とガスタンカーの写真が掲載 173ページ 第三次産業就業者数の県別割合に神奈川県が掲載 234ページ 地図上に神奈川県の地図に県内の地名が掲載 235ページ 関東地方の人口について地図上に神奈川県が掲載 237ページ 在留外国人数の割合のグラフに神奈川県が掲載 237ページ 世界への玄関口に県内の港が掲載 238ページ 県内の鉄道の写真が掲載 239ページ 地図上で「横浜みなとみらい21」が掲載 239ページ 充実した観光産業に横浜中華街が掲載 240～241ページ 「関東地方の多様な産業」に県内の工業や農業に関する記述や資料が掲載 242ページ 基礎・基本のまとめに掲載 286ページ～ 日本の都道府県のあらましに掲載</p>
<p>教出</p>	<p>26ページ 地図上に神奈川県が掲載 27ページ 地図上に神奈川県と県庁所在地が掲載 160ページ 横須賀市で作成した津波ハザードマップが掲載 164ページ 「日本の人口密度の分布」に県内の地名が掲載 164ページ 「三大都市圏への人口集中」に神奈川県が掲載 227ページ 「日本の主な地場産業の分布」に県内の地名が掲載 230ページ 県内の港と再開発地区の写真が掲載 233ページ 関東地方の地勢と各都県の地図が掲載 236～237ページ 「郊外に広がる市街地」に都内に通勤する事例に県内の地名、地図に神奈川県が掲載 238ページ 県内の工業地帯の写真が掲載 239ページ 「大都市に結び付いた県内の農業」に県内の地名が掲載 239ページ 「関東地方における工業都市の分布」に神奈川県が掲載 240ページ 「国際的な交通の拠点」に県内の地名が掲載 240ページ 「日本の主な港の貿易額」に県内の地名が掲載 241ページ 関東地方の主な港の貿易品目のグラフや、都道府県別の外国人数のグラフに神奈川県や県内の地名が掲載 243ページ 「学習のまとめと表現」に神奈川県の名前を答える問題が掲載 251ページ 「ユネスコに登録された日本の無形文化遺産の分布」に県内の行事が掲載 273ページ 「日本の諸地域」に県内の地名が掲載 290ページ～ 日本の都道府県のあらましに掲載</p>
<p>帝国</p>	<p>22ページ 都道府県名と県庁所在地名を答える問題や昔の国名と国境が掲載 146ページ 県内の梅雨の風景の写真が掲載 150ページ 南海トラフの巨大地震が起きた際に予想されている津波の高さに県内の地名が掲載 152ページ 県内の市のハザードマップの例と市街地の写真が掲載 154ページ 「日本の人口分布」に県内の地名が掲載 160ページ 「日本の主な工業地域」に掲載 161ページ 県内の工場群の写真が掲載 163ページ 「インターネットを使って商品を販売する会社の発送センター」に県内の地名が掲載 169ページ 「日本の『主な港』に注目した日本地図」に県内の地名が掲載 235ページ 関東地方の地図に県内の地名やイラストが掲載 236～237ページ 「写真で眺める関東地方」に神奈川県名と横浜中華街の写真が掲載 238ページ 「関東地方の自然」に県内の地名が掲載 239ページ 観光農園の花摘みで県内の地名が掲載 242ページ 「東京大都市圏内の地価の比較」「東京大都市圏の拡大と東京23区への通勤・通学者数」に県内の地名が掲載 243ページ 「全国第2位の大都市横浜」に記述と写真が掲載 244～245ページ 「人口の集中と第3次産業の発達」に記述と資料が掲載 246ページ 臨海部から発達した京浜工業地帯の項目に県内の地名が掲載 247ページ 「関東地方の主な工業と出荷額」に県内の地名が掲載 248～249ページ 「食料の大消費地を支える農業」の記述と資料に県内の地名が掲載 250ページ 「節の学習を振り返ろう」に県内の地名が掲載 290ページ 振り返り学習として「鎌倉市のオーバーツーリズムへの取り組み」が掲載</p>
<p>日文</p>	<p>VIIIページ 県内の街並みの写真が掲載 20ページ 都道府県名と県庁所在地名を答える問題が掲載 153ページ 「日本の人口密度と主な都市の分布」に県内の地名が掲載 158ページ 「日本の主な工業地域」に神奈川県が掲載 160ページ 県内の港の写真が掲載 221ページ 県内の住宅地の写真が掲載 222ページ 「関東地方の地形」「関東地方の人口密度」に神奈川県が掲載 223ページ 「低地と大地からなる関東平野」に県内の政令指定都市が掲載 224ページ 「東京の地位」に神奈川県が掲載 225ページ 「世界に向けて発信される日本のファッションショー」「情報通信業の従業者数の多い県」に神奈川県が掲載 226ページ 「東京23区への通勤・通学者数」「主な都市の昼間の人口と夜間の人口のちがい」に神奈川県が掲載 227ページ 県内の街並みの写真が掲載 227ページ 「過密化を解消するための取り組み」に県内の地名が掲載 228ページ 県内の工業地帯の写真が掲載 233ページ 「学習のまとめ」に神奈川県名を答える問題が掲載 278ページ～ 日本の県別資料に神奈川県が掲載</p>

② URL、二次元コード等の掲載の有無

発行者名						
東書	有					
教出	有					
帝国	有					
日文	有					

③ 一冊ごとの重量(g)

発行者名	冊数	重量 (g)				
東書	1	576				
教出	1	584				
帝国	1	591				
日文	1	567				